

令和7年度小友地区市政懇談会要望等への回答

1 事前要望について

No.	項目	意見・要望等	市の回答	担当課
1	市道の側溝の整備・改修	アップロードから箱根山へ登る道路の側溝の破損が進んでいる。 数年前に市の担当者が確認しているが、その後改善されていない。進捗状況はどうなっているのでしょうか？	他地区の要望箇所と比較すると本路線における側溝本体の損傷が軽度であるため、経過観察を行ってまいりました。 しかし、側溝の蓋が無く側溝断面が狭まっているため、落ち葉等が堆積し、加えて排水が越水し、道路や民地に被害が生じていることが確認されたことから、来年度より整備済箇所から一番上の民家までの区間、約160mについて工事を実施したいと考えております。	建設課
2	防火水槽の設置	今年の2月、小友町で大きな山林火災が発生しました。消防団より「消火栓と防火水槽の併用で消化できた」との話を受けました。現在、岩井沢地内には消火栓が3カ所あるのみです。万が一の場合、これで消化活動が出来るのかを知りたい。出来る事なら、防火水槽等を配備することを考えてほしい。	消火栓や防火水槽については、国が示した消防水利の基準に基づき設置を行っております。 岩井沢地区におきましては、消火栓3基のほか、防火水槽も2基設置されており、基準を満たしております。 有事の際には、消火栓と防火水槽を効果的に活用して消火活動を行い、延焼拡大防止を図って参りたいと考えております。	消防本部
3	熊よけ対策について	アップロードから箱根山へ登る道路横で養蜂をしているが、その蜂蜜を求めてたびたび熊が出没している。この道路を徒歩で利用している人が増えてきているが、熊よけ対策を市としてできないでしょうか。	市では、クマの再来の可能性が高く、クマの誘因による市民への危険性が低い場所では罠による捕獲を行っております。 ご意見のありました場所についても、今後の出没状況と市鳥獣被害対策実施隊の意見も伺いながら、箱罠設置による捕獲を検討して参ります。	農林課
4	自治会の運営について	自治会役員の担い手が見つからず困っている。災害公営団地付きの支援員の配置はできないでしょうか。	過日の市政懇談会におきましては、災害公営住宅のコミュニティ形成に向けた取組が行われる中、第2期復興・創生期間が本年度で終了することを受け、自治会役員の高齢化や担い手不足に関する課題が深刻化していることが共有されました。 このような状況を踏まえ「市内災害公営住宅におけるコミュニティ支援」の継続が必要と判断しており、市内事業者による災害公営住宅における自治会運営の伴走支援、いわゆる「中間支援」を実施する方向で検討を進めております。	まちづくり推進課
5	物価高への対策	物価高に伴う市民への支援が欲しい。	【財政課】 過日開催された市議会臨時会におきまして、物価高騰対策として、プレミアム商品券の発行や水道料金の減免などの生活者支援、一次産業者や交通事業者、医療・介護施設等への支援金給付による事業者支援など、合わせて13事業に関係する補正予算について議決をいただいたところであります。 現在、市民の皆様可能な限り早期に支援策が行き渡るよう、事業実施に向けた準備を進めております。	財政課

No.	項目	意見・要望等	市の回答	担当課
6	市の活性化	人間が集まるって来りような、陸前高田市の魅力の発信が必要と思います。	<p>魅力的なまちづくりには、地域資源の戦略的な発信が不可欠であり、特に東日本大震災津波伝承館と道の駅「高田松原」は、本市における防災学習と賑わいの拠点として、市内の周遊を促す重要な「玄関口」となっております。</p> <p>また、国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した高田松原海水浴場は、世界基準の安心・安全な海としてブランド化を進めたいと考えております。</p> <p>今後も、これらの地域資源を連携させ、デジタル活用も含めた「訪れたい」と思わせる魅力発信を、より一層推進して参ります。</p>	商工観光課
7	立体交差する道路の拡幅	小友町谷地地区内のBRTと立体交差する道路の拡幅をお願いしたい。数年前、救急車が通れず引き返したことがあるので、地域の安心・安全のためにも、ぜひ拡幅をお願いしたい。	優先度と緊急度を考慮した上で、整備を検討して参ります。	建設課 まちづくり推進課
8	道路へ側溝の設置	上記谷地地内の道路につながる道路に側溝が入っていない為、大雨の時に水が溢れてしまいます。以前要望しておりましたが、側溝の設置をお願いしたい。	排水を処理するためにJR用地が必要となることから、現在、JR側と協議している状態です。 協議が整い次第、整備を実施したいと考えております。	建設課